

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 福岡県動物愛護センター

目 次

第1 法人運営

1 評議員会の開催	1
2 理事会の開催	1
3 評議員及び役員に関する事項	1
4 職員構成	3

第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業	4
2 ペット相談事業	1 1
3 調査研究事業	1 3
4 動物愛護・管理支援事業	2 2
5 動物愛護週間事業等	2 6

第1 法人運営

1 評議員会の開催

(公財) 福岡県動物愛護センター（以下「センター」という）の運営事項を決定するため、次のとおり評議員会を開催した。

区 分	開催年月日	場 所	付 議 事 項	結 果
第1回	令和5.4.25	(書面決議)	1 理事2名の選任の件	原案のとおり決議
第2回	令和5.6.23	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和4年度事業報告について 2 令和3年度決算及び監査報告について 3 役員の改選について	原案のとおり決議

2 理事会の開催

センターの運営事項を決定するため、次のとおり理事会を開催した。

区 分	開催年月日	場 所	付 議 事 項	結 果
第1回	令和5.4.14	(書面決議)	1 第1回評議員会の書面による決議の件	原案のとおり決議
第2回	令和5.5.1	(書面決議)	1 理事長選定の件	原案のとおり決議
第3回	令和5.6.2	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度決算及び監査報告について 3 令和4年度第2回評議員会の開催について	原案のとおり決議
第4回	令和5.6.23	(書面決議)	1 理事長及び常務理事選定の件	原案のとおり決議
第5回	令和6.2.20	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和5年度補正収支予算について 2 令和6年度事業計画について 3 令和6年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案のとおり決議

3 評議員及び役員に関する事項（令和6年3月31日現在）

（1）評議員

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
評議員	白石 博昭	令 3.4.30	福岡県保健医療介護部長
評議員	草場 治雄	平 25.4.1	（公社）福岡県獣医師会会長
評議員	坂本 慎二	平 30.10.3	元（公社）福岡県生活衛生営業指導センター理事
評議員	櫻内 京子	平 25.4.1	元福岡県愛玩動物協会副代表
評議員	林 泰輔	平 30.10.3	（一社）九州動物福祉協会事務局長

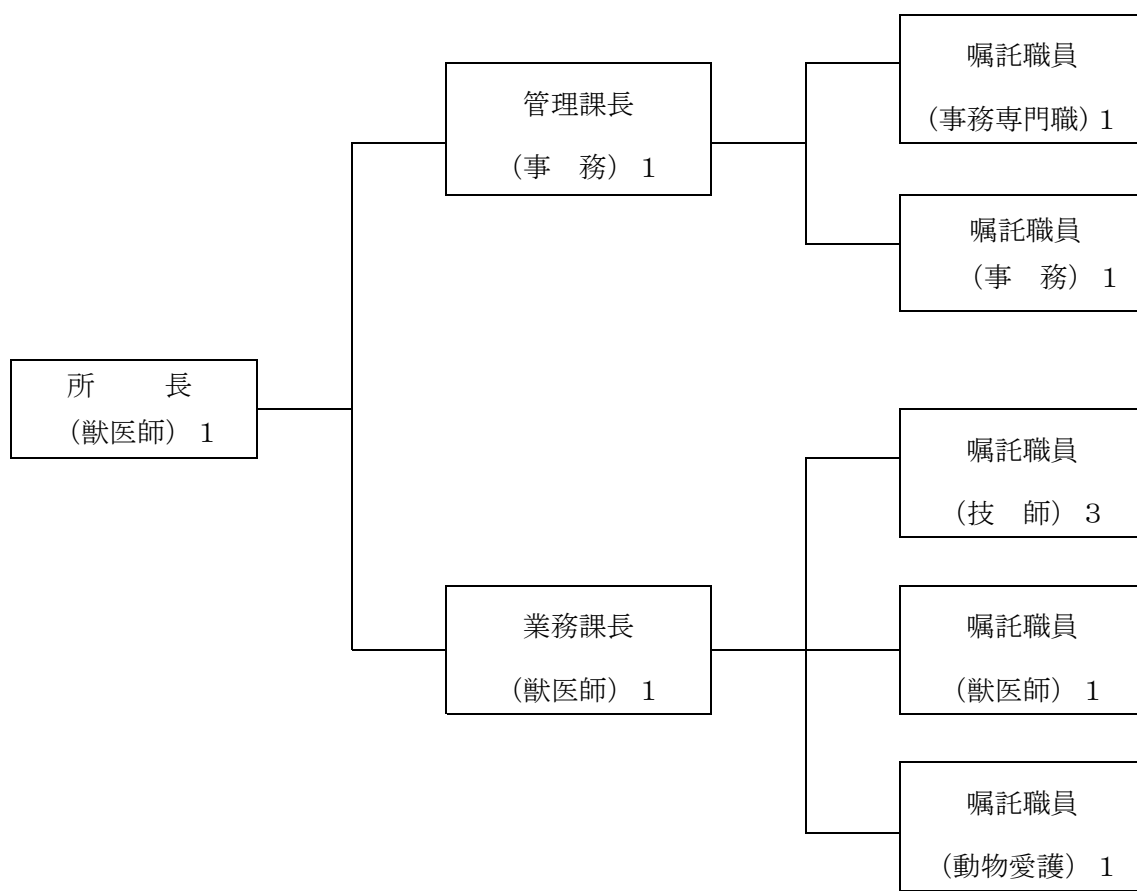
（2）理事

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
理 事 長	吉田 哲也	令 5.5.1	福岡県保健医療介護部食の安全総合調整監兼生活衛生課長
常務理事	友枝 哲宏	令 4.4.25	（公財）福岡県動物愛護センター所長
理 事	小山 幸江	平 27.6.16	元当センター業務課長 当センターボランティア
理 事	野村 哲也	令 5.5.1	古賀市副市長
理 事	松島 美穂	令 5.6.23	ペットとの生活支援ゆとりら代表
理 事	山根 明弘	平 29.6.27	西南学院大学人間科学部教授
理 事	和田 敏憲	令 3.6.25	福岡県獣医師会理事（いのちをつなぐ委員会委員長）

（3）監事

役 職 名	氏 名	就任年月日	摘 要
監 事	井上 久信	令 1.6.12	井上久信税理士事務所所長

4 職員構成（令和6年3月31日現在 10人）



第2章 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業

(1) 県内の動物関係専門学校生等への研修

ア 動物関係専門学校生研修及び実習

動物関係の専門学校の学生に関しては、センター業務、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、動物由来感染症、犬のしつけ及び動物福祉等に関する研修を行い、同時に、将来動物関係の仕事に携わる中で、飼い主等に対する啓発をお願いした。

期 間	内容及び参加者
7月12日(水)	研修 福岡ECO動物海洋専門学校 動物園・動物飼育専攻 32名
7月19日(水)	研修 福岡ECO動物海洋専門学校 ドッグトレーナー専攻 33名

イ 動物愛護推進員、行政担当者及び中学生等への研修及び実習

センター業務、動物関係法令、犬や猫の健康管理法及び犬のしつけ方等に関する研修及び実習を行った。

(ア) 中学生実習

本年度は、職業体験学習の申し込みはなかった。

(イ) その他

日 時	内容及び参加者
9月8日(金)	インタビュー 福岡大学商学部 1名
11月17日(金)	電話インタビュー 福岡女学院中学校 1名
12月5日(火)	取材 北九州市立大学経済学部 1名
3月7日(木)	VP キャンプ 1名
3月8日(金)	インタビュー 福岡市立福重小学校6年 1名

※VP キャンプ:獣医系大学インターンシップ

ウ 福岡県ペット飼育支援アドバイザー養成講習会

ペットの多頭飼育等の問題を未然に防ぎ、ペットを飼育する者に対して、適正飼養に係る啓発や適切な助言を県と連携して実施することにより適切なペット飼育の支援を行う「福岡県ペット飼育支援アドバイザー」を養成することを目的とし講習会を行った。

○開催状況

・日時 令和5年11月30日(木) 13:30～16:00

- ・場所 福岡県吉塚合同庁舎 8階 Y8 0 1 会議室
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・対象 動物愛護推進員他「ペット飼育支援アドバイザー養成講習会実施要領」に基づく受講要件に合う者
- ・受講者数 22名（会場：8名、Web：14名）
- ・内容 ペット飼育問題の現状、高齢者や生活困窮者等に関する法令及び制度等、動物愛護に関する法令及び制度等、ペットを飼育する者への支援の実例と在り方、県の取り組み等

（２）施設見学者への啓発

ア 施設見学の受入れ

施設来場者に対して、センターの事業の説明及び動物愛護に関する啓発を行った。

・受入状況

単位：名

講習会 見学者	動物愛護 団体	小中学生	専門学校 高校生	行政関係 愛護推進員	一般 来場者	合計
12 (10)	18 (7)	0 (0)	65 (126)	49 (24)	820 (492)	964 (659)

※（ ）は令和4年度の実績、以下同様

イ センターオープンデーの開催

○開催状況

月日（曜日）	参加 登録団体数	参加 協力団体数	一般 来場数	参加 犬猫数	（登録） ボランティア数
5月21日（日）	7団体	3団体	144名	46頭	16名

- ・場所 福岡県動物愛護センター
- ・時間 10：00～15：00
- ・内容 「動物と共に生きるために」をテーマに講演会、センター譲渡犬の里帰り会等を行った。

ウ テレビ、広報等による啓発

ホームページ、フェイスブック、インスタグラムにより、センター事業や譲渡動物の様子などの情報発信を行った。

（３）犬のしつけ方教室

犬の適正飼養や犬とのより良い関係づくりを啓発し、模範的な飼育者及び模範犬の育成を図ることを目的として、犬の習性、行動や心理に関する情報を提供しながらしつけ方の指導を行う「犬のしつけ方教室（一般コース、子犬コース）」を実施した。

また、子犬コースに参加し、全レッスンを終了した飼い主と犬を対象としたフォローアップ講習会「ワンパク同窓会」を開催した。

ア 一般コース

○ 開催状況

月日（曜日）	受講者数・組数	（登録） ボランティア数	モデル犬数
4月16日（日）	7名・5組	4名	3頭
6月18日（日）	8名・5組	4名	3頭
7月16日（日）	3名・2組	5名	6頭
8月20日（日）	6名・2組	4名	4頭
9月17日（日）	6名・3組	6名	4頭
10月15日（日）	3名・2組	5名	2頭
11月19日（日）	7名・4組	5名	3頭
12月17日（日）	5名・2組	6名	2頭
1月21日（日）	12名・5組	4名	3頭
3月17日（日）	11名・5組	4名	5頭
計	68名・35組 (37名・20組)	47名 (25名)	35頭 (21頭)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 13:00～15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
 - (a) 講義 センターの業務、しつけの必要性、犬の習性と性質、犬の社会化、不妊去勢手術、しつけの基本、良い遊びと良くない遊び、犬のことば、問題行動の背景と対処法、しつけグッズの紹介等
 - (b) モデル犬の実演 犬と飼い主の関係づくり、オスワリ、フセ等

イ 子犬コース

○ 開催状況

月日（曜日）	内容	受講者数	同伴犬数	（登録） ボランティア数
6月1日（木）	講義	8名・5組	—	1名
6月8日（木）	実技1	7名・5組	5頭	5名
6月15日（木）	実技2	8名・5組	5頭	5名
9月7日（木）	講義	3名・3組	—	2名
9月14日（木）	実技1	4名・3組	3頭	6名
9月21日（木）	実技2	4名・3組	3頭	8名
11月2日（木）	講義	8名・7組	—	4名
11月9日（木）	実技1	6名・6組	5頭	6名
11月15日（水）	実技2	2名・1組	1頭	0名

11月16日(木)		2名・2組	2頭	8名
11月22日(水)	実技2	1名・1組	1頭	0名
11月27日(月)		1名・1組	1頭	0名
3月7日(木)	講義	7名・6組	—	3名
3月14日(木)	実技1	6名・5組	4頭	10名
3月21日(木)	実技2	6名・5組	4頭	8名
合計		73名・58組 (83名・51組)	34頭 (32頭)	66名 (57名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター 大会議室
- ・ 時間 (講義) 13:00～15:30 (実技) 13:30～15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
 - (a) 講義 センターの業務、犬との暮らしの基本、遺伝と環境、犬の学習方法、犬と飼い主の関係作りプログラム、犬のストレス等
 - (b) 実技 アイコンタクト、オスワリ、マテ、フセ、オイデ、ゲーム等

ウ ワンパク同窓会

○ 開催状況

月日(曜日)	参加者数	同伴犬数	(登録) ボランティア数
4月26日(水)	34名	21頭	12名
11月8日(水)	47名	30頭	11名
合計	81名 (75名)	51頭 (49頭)	23名 (15名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター 駐車場
- ・ 時間 13:30～15:30
- ・ 対象 犬のしつけ方教室子犬コースを修了した飼い主と愛犬
- ・ 内容 近況報告、実技、ゲーム等により、飼い主のスキルアップ、モデル的飼い主の組織としての情報発信

(4) 猫の適正飼養に関する普及啓発

- ・ 「にゃんにゃんセミナー」

完全室内飼育、不妊去勢手術の実施等、適正な飼養方法を広く普及啓発することを目的に実施した。令和4年度から、会場と Web 配信のハイブリッド開催とした。

○ 開催状況

月日(曜日)	受講者数	会場	Web	(登録) ボランティア数
5月24日(水)	3名・3組	3名・3組	0	0
8月16日(水)	5名・3組	5名・3組	0	0

1 1 月 2 2 日 (水)	9 名・7 組	4 名・3 組	5 名・4 組	0
2 月 1 8 日 (日)	1 7 名・1 3 組	8 名・6 組	9 名・7 組	2 名
合計	3 4 名・2 6 組 (3 4 名・3 3 組)	2 0 名・1 5 組 (1 8 名・1 7 組)	1 4 名・1 1 組 (1 6 名・1 6 組)	2 名 (8)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・ 時間 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容 猫をとりまく現状、猫の習性の理解、猫のニーズを満たす、猫のストレスサイン、なぜ完全室内飼育なの？猫の病気と健康管理、猫の不妊去勢手術の必要性、完全室内飼育のためのポイント、トイレのしつけ、猫の食事、お手入れ等

(5) 動物愛護教室

○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	時 間	大人	子ども	(登録) ボラン ティア	備考
7 月 2 6 日 (水)	10:00~11:30	0	0	0	参加申し込みなし
8 月 1 6 日 (水)	10:00~12:00	7	8	3	8 月 9 日台風のため日程延期
8 月 1 7 日 (木)	14:00~16:30	2	4	0	個別依頼あり実施

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童、中学生、高校生、大学生
- ・ 内容 動物愛護センターの仕事紹介、動物クイズ、動物の心音を聞いてみよう、施設見学等

(6) 講師派遣

保健福祉(環境)事務所、市町村等主催者からの依頼がなかった。

(7) 譲受団体研修会

- ・ 開催日時 5 月 2 5 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
及び、上記会場から zoom を用いた Web 配信
- ・ 参加者 1 4 団体 1 6 名（会場；7 団体 9 名、Web；7 団体 7 名）
- ・ 内容 令和 4 年度譲受団体への譲渡状況、センターにおける人材育成の充実強化についての協力依頼、2 0 2 3 年度センターオープンデーの開催について、センターHP等の活用についての説明をおこなった。

(8) ボランティア研修会

ア 新規ボランティア研修会

○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	受講者数	登録可数	登録済数
4月5日（水）	3	3	3
6月7日（水）	1	1	1
8月2日（水）	3	3	3
10月4日（水）	5	5	5
12月6日（水）	1	1	1
2月7日（水）	5	4	4
合計	18 (22)	17 (21)	17 (21)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 9：00～11：30
- ・ 対象 センター事業を支援する意思のある方
- ・ 内容 ボランティアに必要な事項等の説明
- ・ 新規ボランティア登録者 17名
(参考) ボランティアの活動状況

ボランティア活動の動物愛護事業名		事業回数	参加人数 (延)	反省会及び 意見交換会
これから犬を飼う人のための講習会		19回	73名	16回
犬のしつけ方教室	一般コース	10回	47名	10回
	子犬コース	15回	66名	12回
ワンパク同窓会		2回	23名	2回
にゃんにゃんセミナー		4回	2名	1回
動物愛護教室		2回	3名	1回
ボランティア勉強会・研修会		3回	34名	3回
日常のお世話（散歩、シャンプー、手入れ等）		27回	86名	27回
一時預かり（犬・猫）		13回	13名	—
センターオープンデー		1回	16名	1回
動物愛護フェスティバル		1回	12名	1回
合 計		97回 (78回)	375名 (344名)	74回 (65回)

イ ボランティア勉強会

ボランティアの資質向上を図るための勉強会を開催した。

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター大会議室
- (ア) 第1回 4月10日（月）13：30～15：30
内容：コミュニケーションスキルとカウンセリングの注意点について
参加人数：13名（会場11名、Web2名）
- (イ) 第2回 8月1日（火）13：30～15：30

内容：クリックートレーニングについて

参加人数：6名（会場6名）

ウ ボランティア及び譲受団体合同研修会

講師等の調整がつかず未実施

エ ボランティア意見交換会

ボランティアに対してセンター事業等の実施状況の説明を行い、円滑なボランティア活動の実施を図るため、意見交換会を開催した。参加への利便性を測るため、Web配信も実施した。

- ・ 開催日時 3月6日（水）10：00～11：30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
及び 上記会場から Zoom を用いた Web 配信
- ・ 参加人数 15名（会場12名、Web3名）

（9）動物愛護に関する行政機関との連携事業

ア 動物行政担当者研修会及び情報交換会

動物愛護事業について、福岡県内各保健福祉（環境）事務所の動物行政担当者と連携を図るために、次の事業を行った。

（ア）研修会

- ・ 日時 6月29日（木）13：00～17：00
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 参加者 15名

（イ）情報交換会

- ・ 日時 2月21日（水）10：00～16：30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 参加者 13名

イ 愛護動物同行避難訓練

（ア）福岡県総合防災訓練

- a 日時 5月28日（日）8：00～12：30
- b 場所 朝倉市会場
イベント展示：あまぎ水の文化村（朝倉市矢野竹831）
指定緊急避難場所設置運営訓練：
朝倉市立十文字中学校体育館（朝倉市三奈木3710）
- c 内容 同行避難啓発パネル及びグッズのイベント展示
飼い主及び飼い犬の同行避難訓練実施

（イ）福岡県原子力防災訓練

- a 日時 10月14日（土）12：00～14：15
- b 場所 サンレイクかすや（粕屋町駕与丁1丁目6-1）

c 内容 愛護動物同行避難訓練及び講話の実施

ウ 福岡県内動物愛護（管理）センター会議

a 日 時 3月29日（金）

b 開催方法 書面開催

エ 福岡県動物愛護推進協議会に対する動物愛護事業の支援

○令和5年度動物愛護推進協議会

a 日 時 3月14日（木）

b 開催方法 書面開催

○飼い主マナーアップキャンペーンイベント（推進協議会粕屋支部主催）

a 開催日 11月28日（火）

b 場 所 イオンモール福岡

c 内 容 犬猫の適正飼養推進の啓発

オ ワンヘルス関連イベント展示

(ア) 第5回防災フェスティバル（九州はひとつ！復興支援と防災！）

a 日時 3月17日（日）10：00～15：00

b 主催 一般社団法人九州女性起業家のびんびん会

c 場所 春日公園 芝生広場（春日市原町3-1-4）

d 内容 同行避難啓発パネル及び同行避難準備グッズの展示

2 ペット相談事業

ペット等に関する相談を電話やセンター窓口において受け付けた。

犬猫ともに譲受希望の問い合わせが一番多かったが、猫は保護の相談も多かった。犬も猫も自分では飼えない、もしくは飼えなくなったが、当センターから譲渡して欲しい、もしくは、一時預かって欲しいとの要望もあった。当センターへの引取りや譲渡を依頼するのではなく保護した猫をどうしたらよいかと助言を求める問い合わせも多かったため、保護した命を助きたいのであれば、自分で譲渡先を探せるように新しい飼い主を探す方法を伝えている。また、入院等による一時預かりを希望している場合は、民間の業者を利用するように助言している。トラブルの相談内容は、犬は虐待に関する相談、猫は被害を受けている相談が多かった。犬、猫ともに失踪に関する問い合わせに対しては、当センターホームページへの掲載を案内するとともに、管轄保健所の案内、鑑札や迷子札等の装着の必要性についてアドバイスしている。

(1) 相談件数

555件（犬224件、猫291件、その他40件）

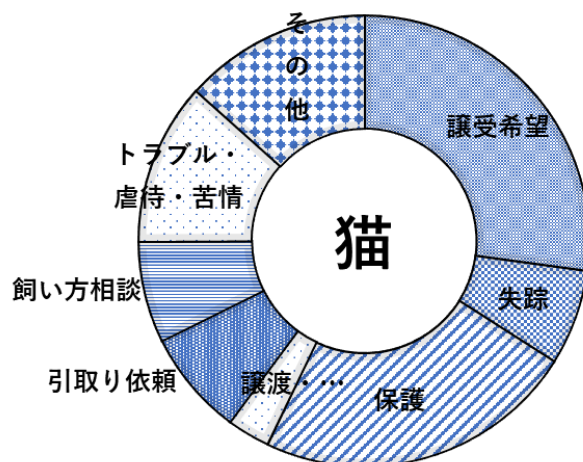
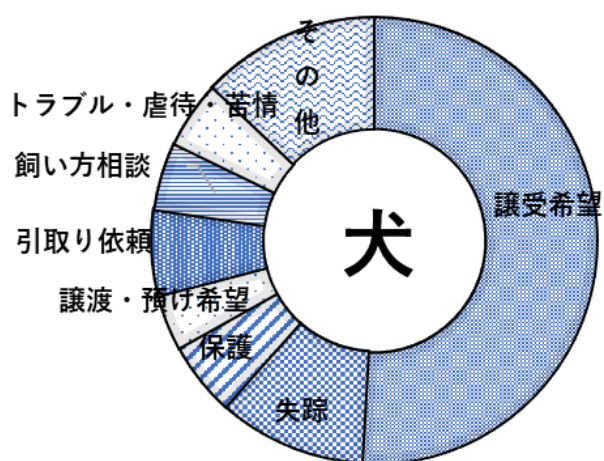
(2) 相談内容

単位：件

相談内容	犬の件数	猫の件数
譲受希望	114	79
失踪	24	20
保護	12	67
譲渡・預け希望	9	9
引取り依頼	14	22
飼い方相談	11	21
トラブル・虐待・苦情	11	34
その他	29	39

ア 犬の相談内容

イ 猫の相談内容



ウ 犬及び猫以外の主な相談内容

- ・ HP への掲載に関する問い合わせ、相談
 - ・ 犬猫以外の愛玩動物の保護・譲渡に関する相談
 - ・ 登録・注射手続きに関する問い合わせ
 - ・ 愛護団体に関する問い合わせ、相談
 - ・ 動物取扱業に関する問い合わせ、相談
 - ・ 野生動物の保護に関する相談
 - ・ MC に関する問い合わせ
- 等

3 調査研究事業

(1) 譲渡犬の飼養実態調査

○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した犬の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡1年後に次のとおり追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和4年度譲渡犬の飼養者6名（♂4頭、♀2頭）
成犬4頭（♂2頭、♀2頭）子犬2頭（♂2頭、♀0頭）
- ・ 期 間 令和5年4月～令和6年3月
- ・ 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数（率） 6件（100%）

○ 調査結果

- ・ 現在の状態 [N=6]
 - 健康・・・・・・・・ 6件（100%）
 - 死亡した・・・・ 0件（ 0%）

[以降N=6 ♂4 ♀2]

- ・ 飼育の目的〔複数回答〕
 - 家族の一員・・・・・・・・ 6件（100%）
 - 番犬・・・・・・・・ 2件（ 33%）
- ・ 現在の体重
 - 5.1kg～10.0kg・・・・ 3頭
 - 10.1kg～15.0kg・・・・ 2頭
 - 15.1kg～20.0kg・・・・ 1頭
- ・ 飼育場所〔複数回答〕
 - 家の中・・・・・・・・ 5件（83%）
 - 囲いの中で・・・・ 1件（17%）
 - 鎖で繋留・・・・ 1件（50%）
- ・ 狂犬病予防法に基づく登録・注射
 - 受けている・・・・ 6件（100%）
- ・ 所有者明示について
 - 付けている・・・・ 6件（100%）
 - [明示内容]〔複数回答〕
 - ・ 鑑札（4件） ・ 狂犬病予防注射済票（6件）
 - ・ マイクロチップ（6件） ・ 迷子札（3件）

・環境省へのマイクロチップの登録について

手続きは終わった・・・6件（100%）

譲渡の条件である、登録と狂犬病予防注射の接種は100%実施していた。
法律で定められている鑑札や済票の装着について、装着率が100%となった。
環境省へのマイクロチップの登録については、ほとんどの方が譲渡日にセンターにて登録を済ませている。

・主に犬の世話をする人〔複数回答〕

記入者本人・・・・・・4件（67%）

家族の大人・・・・・・3件（50%）

子供・・・・・・0件（0%）

その他・・・・・・1件（17%）

・犬の運動〔複数回答〕

特にさせていない・・・・・・0件（0%）

庭で追放し・・・・・・2件（33%）

引き綱で運動・・・・・・6件（100%）

ドッグラン・・・・・・1件（17%）

その他・・・・・・2件（33%）

無回答・・・・・・0件（0%）

〔運動の回数／一日〕

1回・・・・1頭

2回・・・・2頭

3回・・・・1頭

4回・・・・0頭

5回・・・・2頭

〔運動の時間／一回〕

10分程度・・・・2頭

15分程度・・・・1頭

20分程度・・・・2頭

5～60分程度・1頭

・食事の内容〔複数回答〕

ドッグフード・・・・・・6件（100%）

家族と同じ・・・・・・0件（0%）

すべての犬が毎日運動をさせてもらい、食事はドッグフードを基本に与えられている。運動や食事においては、適正な飼育がなされていると考えられた。

・不妊・去勢手術について

センターにて手術済み・・・・6件（100%）

〔性別による内訳〕 公4件 女2件

譲渡犬の不妊去勢手術に関しては、譲渡前にすべての犬の手術を施してから飼い主の募集をしたため、実施率が100%となっている。

- 動物病院の受診経験

ある・・・・・・・・・・・・ 6件（100%）

〔主な内容〕〔複数回答〕

- ・狂犬病予防注射 ・混合ワクチン接種 ・フィラリア予防 ・ノミダニ予防
- ・健康診断や相談 ・血液検査 他

動物病院は、治療、予防に加えて健康診断や相談で受診していた。
 予防獣医療及び体調不良時の早期受診の大切さについて、譲渡時の誓約書に記載した上で、しっかりと説明するようにした成果だと思われた。

- 飼育していて困ったこと、現在困っていること

○成犬

ある・・・・・・・・ 0件（ 0%）

ない・・・・・・・・ 4件（100%）

○子犬

ある・・・・・・・・ 2件（100%）

ない・・・・・・・・ 0件（ 0%）

犬を飼育していて現在困っていることは成犬はないが子犬はあるとの回答だった。子犬を譲渡した家庭は全て子犬のしつけ方教室を受講した。最初は要求吠に困っていたが、現在はまだトレーニング中の事もあるものの困っていることはないとの回答があり、飼い主が工夫をして対処できていた。
 また、困りごとをセンター職員に相談された際はアドバイスをするなど、飼い主へのフォローアップをおこなっている。
 「これから犬を飼う人のための講習会」で情報提供して、今後ちょっとした困りごとには、自ら対処できる飼い主となれるようなしつけ方教室を開催していきたい。

- 今回犬を飼っての感想は

- ・妻が心豊かになった。 ・義父の認知症予防になっている。
- ・仕事と飼育のバランスが難しいこともあるが、毎日楽しく過ごしている。
- ・日々笑顔で過ごせる。・運動量が増えた。・近所付き合いが増えた。
- ・存在だけで空気が和む、触っていると安心できる。
- ・家族の一員であり、いるだけで幸せと思う。
- ・仕事と飼育のバランスが難しいこともあるが、毎日楽しく過ごしている。
- ・先住犬を見習って吠えなくなった。根気良く伝えればわかってもらえる。
- ・家具の噛み癖を直すことが大変だった。

犬を飼っての感想として、ほとんどが良かったことだった。センターから犬を迎えられた方々が、犬との暮らしに満足されている様子がうかがえた。
 今後も、犬を飼育するにあたっての基本的な留意事項について、事前講習会や面談時において、しっかりと説明していきたい。

- ・ お宅の犬はしつけが良い方だと思いますか。

思 う・・・・・・・・ 2件（33%）

思わない・・・・・・・・ 0件（0%）

わからない・・・・・・・・ 4件（67%）

- ・ センターで行っている「しつけ方教室」について

参加した・・・・・・・・ 6件（100%）

参加したい・・・・・・・・ 0件（0%）

参加できない・・・・・・・・ 0件（0%）

無回答・・・・・・・・ 0件（0%）

センターで行っている「犬のしつけ方教室」への参加意欲は高い。「飼養して困っている」と回答した方の悩みを解消できるような教室にしていきたい。

- ・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

〔内容〕

- ・ 飼育者のトレーニング
- ・ 飼養者になる前に必ず教室講習を受けるように義務化があればよい。
- ・ 最後まで一緒に過ごす。
- ・ ペットとして考えず、家族として考える。
- ・ 命を預かっているという意識を強く持つ。

「犬のトレーニング」ではなく「飼育者のトレーニング」という回答があったのは、譲渡前に行う講習会や譲渡時に行う個別講習、犬のしつけ方教室などにより、飼い主の気持ちの持ち方や犬に対する接し方など、飼い主自身がしなければならぬことを理解していただけたからだと思われる。

- ・ センターへの意見・要望

〔主な内容〕

- ・ センターが行っている譲渡後のアフターフォローは大切だと思う。
- ・ センターのイベント、教室はとても楽しいので、これからも続けて欲しい。
- ・ センターとボランティアに対する感謝や激励。

センターへの意見・要望については、譲渡した犬に出会えた感謝やイベント、教室が楽しいなど、センターの譲渡事業等に対して高評価を得ていた。

○ 総括

本アンケート調査により、センターから犬の譲受をされた方が、センターの譲渡事業の目的である地域における模範的飼養者として犬を適正に飼養していることが確認できた。また、事前講習会での説明のポイントや普及啓発のためのヒントを知ることができた。今後も、このアンケート調査を継続して実施していくこととする。

(2) 譲渡猫の飼養実態調査

○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した猫の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡6カ月後の追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和4年度譲渡猫の飼養者25名、29頭
(♂15頭、♀14頭)
注：1家族に複数で譲渡していることもあるので、頭数の方が多くなる。
- ・ 期 間 令和5年4月～令和6年3月
- ・ 方 法 封書等によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数(率) 29頭分(100%、♂15 ♀14)

○ 調査結果

- ・ 現在飼育しているか [N=29]
はい・・・ 28件(97%) いいえ・・・ 1件(3%)

[以降N=28 ♂14 ♀14]

- ・ 飼養方法について
完全室内飼育・・・ 28件(100%)

譲渡猫は、譲渡の条件どおり全頭完全室内飼育されており、周辺住民に迷惑をかけない飼い方をしていた。

- ・ ケージの活用について
活用している・・・ 18件(64.3%)
[活用方法][複数回答]
 - ・ 就寝中(10件) ・ 留守中(8件) ・ 食事中(5件)
 - その他(6件)の内訳[複数回答]
 - ・ いつでも入れるようにしている(5件) ・ その他(3件)
活用していない・・・ 10件(35.7%)
[主な理由][複数回答]
 - ・ 室内を自由にさせている、すぐに慣れたため(各3件) ・ その他(5件)

譲渡時の条件として用意していただいたケージを活用されていない方がいた。今後も面談の際に、ケージの必要性を伝え、譲渡後継続して使用するよう促す。

- ・ 所有者明示について
付けている・・・ 28件(100%)
[明示内容][複数回答]
 - ・ マイクロチップ(28件) ・ 迷子札(6件) ・ その他(1件)
その他の内訳
 - ・ 首輪に電話番号を記入(1件)

手術時にマイクロチップを装着しているため、所有者明示は100%となるが、迷子札の装着率が低いため、啓発が必要である。今後も譲渡時にその場で首輪を装着し、電話番号を直接記入してもらうこととする。

- ・マイクロチップの環境省への登録について ＊法律施行後の6月以降譲渡分（24件）対象
手続き済み・・・・・・・・ 24件（100%）

全員が譲渡日にセンターにて登録を済ませた。

- ・ 主に猫の世話をする人は 〔複数回答〕
記入者本人・・・・・・・・ 22件（78.5%）
家族の大人・・・・・・・・ 17件（60.7%）
子供・・・・・・・・ 9件（32.1%）
その他・・・・・・・・ 1件（ 3.6%）

猫の世話は、必ず大人の手が入っており、子供も手伝っているようであった。
その他は、家族全員で世話をしているとの回答であった。

- ・ 不妊・去勢手術について
センターにて手術済み・・・・ 28件（100%）

譲渡猫の不妊去勢手術に関しては、譲渡前にすべての猫の手術を施してから飼い主の募集をしたため、実施率が100%となっている。

- ・ 動物病院の受診について
受診した・・・・・・・・ 25件（89.3%）
〔主な内容〕〔複数回答〕
・健康診断（20件） ・ワクチン接種（11件） ・ノミダニ予防（6件）
・皮膚病治療（2件） ・怪我（2件）
・その他（爪切り、条虫駆除他）（3件）
受診していない・・・・ 3件（10.7%）

〔理由〕

- ・室内飼育しており、病気になっていないからなど

譲渡後半年以上動物病院を受診していないところがあるので、譲渡の際に、健康診断や外部寄生虫駆除薬等の必要性について説明し、アンケート返信時受診していない時は電話で確認をする。

- ・ 現在飼育している動物について
譲り受けた猫のみ・・・・・・・・ 16件（57.1%）
その他の動物がいる・・・・ 12件（42.9%）
〔同居動物の種類〕〔複数回答〕
・猫（10件） ・犬（1件） ・その他（2件）
〔猫との関係について〕 良好（11件） 距離を置いている（3件）

- ・ 飼育していて困ったこと、現在困っていること

ない・・・ 20件（71.4%）

ある・・・ 8件（28.6%）

〔主な内容〕

- ・盗み食いやものを噛む（7件）
- ・ケアが出来ない（2件）
- ・その他（5件）

飼育していて困ったこと、現在困っていることについて「ある」と回答された方の理由は、飼い主の対応によって改善できるものであった。このことから、猫についても飼育方法の継続的なサポートが必要であることが分かった。にゃんにゃんセミナーにおいて、対応方法等を説明していきたい。

- ・ 今回猫を譲り受けての感想 〔複数回答〕

あり・・・ 26件（92.9%）

- ・近況報告（17件）
- ・可愛い、和む（7件）
- ・2匹一緒によかった（2件）
- ・譲り受けてよかった（4件）

なし・・・ 2件（7.1%）

飼い始めた感想について、「悪かった」と回答された方はいなかった。「良かった」理由として「可愛い、和む」、「2匹一緒に良かった」等を挙げていた。

- ・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

回答あり・・・ 28件（100%）

- ・最後まで飼う（25件）
- ・不妊去勢手術をすること（21件）
- ・室内飼育をすること（14件）
- ・飼う前に調べる（6件）
- ・野良猫に餌付けしない、情報発信をする（各4件）
- ・その他（1件）

〔その他、各1件〕

- ・地域猫活動を活発にし、野良猫を減らす

回答なし・・・ 0件（0%）

処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができることとして、「最後まで飼う」、「室内飼育をする」など譲受者に再確認していただけたと思う。また、「情報発信をする」については、今後譲渡の際に、センターから協力をお願いする。

- ・ センターへの意見・要望

あり・・・ 18件（64.3%）

なし・・・ 10件（35.7%）

〔主な内容〕

- ・感謝、激励（12件）
- ・その他（6件）

〔主な内容〕

- ・近況報告
- ・学生研修のお願い
- ・次の子もセンターから迎えたい
- ・医療面が全て終わっていたので、準備に費用を回せた
- ・インスタでの発信は良い

センターへの意見・要望については、譲渡した猫に出会えた感謝やお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業に対して高評価を得ていた。

○ 総括

返信がなかったところには昨年度同様、電話連絡後、アンケート再送し返信をお願いしたが、それでも2件返信がなかったため、それぞれ後見人へ電話し、飼い主と連絡を取ることができ聞き取り調査を行った。今回は後見人と連絡が取れたが、本人と連絡が取れなかった時の対応として猫を譲り渡す際の申請書兼誓約書にメールアドレスと緊急連絡先氏名を追記した。

本アンケート調査は、対象者は少ないものの回収率は高く、譲渡事業の評価に有効な手段と思われる。今回の調査結果を踏まえ、今後も地域で模範となる飼い主の育成を目指すこととする。

(3) 犬猫の適正飼養に関する調査

○ 調査の概要

- ・対象及び件数 当該フェスティバル時に、センター設置の動物愛護事業啓発ブースに来場された方。クイズ形式で回答。回答者数248名。
- ・調査日時 令和5年10月22日（日） 10:45～15:00
「2023動物愛護フェスティバルふくおか」開催時
- ・調査場所 天神中央公園西中洲エリア（福岡市）
- ・調査方法 センターブース内にクイズの内容に関連したパネルを展示し、クイズの回答はボードにシールを貼ってもらう。移動用パネルを持って来場者へのクイズ参加を呼び掛ける。クイズに答えた方には啓發文（不妊去勢手術で不幸な命をなくそう・迷子札は命づな）を貼った粗品を渡した。
- ・調査内容 「犬猫の適正飼養に関するアンケート」

三択式

「犬や猫はどれくらいで大人になる？」

- A 生後6ヶ月から1才
- B 1才から3才
- C 3才から5才

「犬や猫が迷子になっても家に帰るためには」

- A うちの犬猫は室内飼いだから外出時だけ迷子札等をつける
- B 常に迷子札やマイクロチップ（犬は鑑札・注射済票）をつける
- C 自分で帰ってくるから何もしなくてよい

○ 調査結果

- ・犬や猫はどれくらいで大人になる？

犬や猫を飼っている人は7割が6ヶ月から子を産むと理解していたが、3割近くの方は2才からと答えており、犬や猫を飼っていない人は4割が2才から子を産むと答えていた。犬や猫は人間より早く成長し子を産むので早めの不妊去勢手術が必要であることなど正しい知識の普及啓発が必要である。

- ・犬や猫が迷子になっても家に帰るためには

犬や猫の所有者明示については、ほとんどの人が必要と回答しておりかなり定着してきているようである。しかし、犬猫を飼っている人の2%が「自分で帰ってくるので何もしなくてよい」と回答しており、飼っていない人の5%が「室内飼いだから外出時だけ迷子札等をつければよい」と回答している。今後とも所有者明示の必要性について普及啓発が必要である。

○ 総括

たくさんの方に気楽に答えていただくため、「記述式」は行わず、該当欄にシールを貼る方法で「三択式」のみ行った。また、移動用のボードを持って出張する形式も取り入れ、回答者は例年より多く248名となった。

シールを貼るだけという手軽さからか、多数参加していただくことができ、不妊去勢手術や所有者明示について普及啓発する機会が得られたと思う。

調査結果からは、犬猫を飼っている人飼っていない人に多少の差はあるが、正しい知識を持っていない人がいることがわかった。当センターの事業（これから犬を飼う人のための講習会・犬のしつけ方教室・にゃんにゃんセミナー等）で継続して啓発していく必要がある。

4 動物愛護・管理支援事業

(1) 動物の収集及び管理に関する事業

ア 収集、譲渡及び致死処分状況

単位：頭

(成・子内訳)

区 分		犬		猫		その他	計
		成犬	子犬	成猫	子猫		
① 前年度からの繰り越し		4	2	4	1	0	11
収 集	② 保健福祉（環境）事務所等からの捕獲犬及び引取犬・猫	171	17	55	196	0	439
	③ 保健福祉（環境）事務所等からの負傷動物	4	7	75	70	0	156
	④ 収集計（②+③）	175	24	130	266	0	595
譲 渡	⑤ センター譲渡	12	3	6	30	0	51
	⑥ 譲受団体譲渡	142	20	60	130	0	352
	⑦ 譲渡計（⑤+⑥）	154	23	66	160	0	403
⑧ 致死処分計		17	3	66	107	0	193
⑨ 翌年度への繰越		8	0	2	0	0	10

イ 致死処分方法の検討

本年度は、炭酸ガスによる致死処分以外の方法を検討するため、一部の犬猫に対して致死量の麻酔薬（犬：ラボナール、イソゾール 猫：アイオナール Na、イソゾール）投与による致死処分を実施した。

○犬 2頭（成犬2頭）

○猫 8頭（成猫4頭、子猫4頭）

(2) 犬及び猫の譲渡事業

致死処分数の減少を図るとともに、地域における模範的飼養者の育成及び適正飼養の普及啓発を図るため、センターにおいて保管・管理している健康で家庭動物として適正のある犬及び猫について、譲渡を行った。

ア センターから個人への直接譲渡

(ア) 譲受希望者への犬の譲渡

犬の譲受希望者に対しては、事前講習会の受講を義務づけるとともに、譲受希望者には面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡犬については5種感染症ワクチン等を接種するとともに、内外部寄生虫駆除、特段の事情がない限り避妊去勢手術を行っている。

(a) 「これから犬を飼う人のための講習会」（事前講習会）

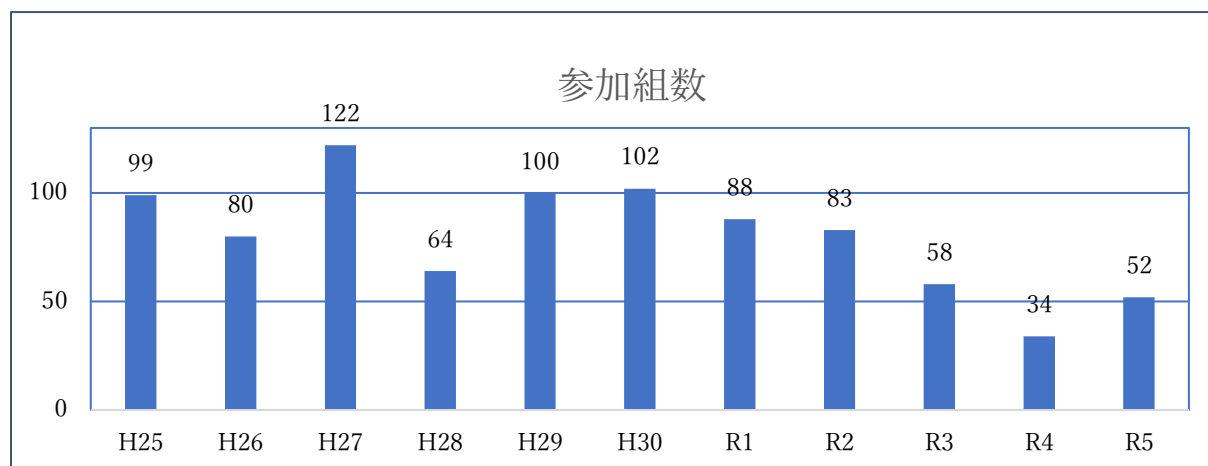
センターから犬の譲渡を希望される方に対し、講習及び面談を実施した。

- ・ 講習 「あなたは本当に犬が飼えますか?」、「犬を迎える準備」
- ・ 面談 犬の飼養環境調査表（譲受希望者記入）等に基づく聴取
- ・ 開催状況

月日(曜日)	受講者数	組数	(登録) ボランティア数	見学者数
4月 5日(水)	4名	2組	7名	
※ 4月 7日(金)	4名	2組		
4月16日(日)	3名	2組	4名	1名
5月10日(水)	13名	8組	5名	
6月 7日(水)	8名	6組	7名	1名
6月18日(日)	8名	3組	2名	
7月 5日(水)	4名	2組	6名	
7月16日(日)	2名	1組	3名	
8月 2日(水)	0名	0組		
8月20日(日)	11名	5組	2名	1名
9月 6日(水)	2名	1組	7名	1名
9月17日(日)	0名	0組		
10月 4日(水)	4名	2組	3名	4名
10月15日(日)	0名	0組		
11月 1日(水)	3名	2組	6名	
11月19日(日)	0名	0組		
12月 6日(水)	0名	0組		
12月17日(日)	4名	1組		
1月10日(水)	2名	1組	5名	
1月21日(日)	15名	6組	2名	
2月 7日(水)	11名	5組	7名	3名
2月18日(日)	2名	1組	4名	
3月 6日(水)	0名	0組		
3月17日(日)	4名	2組	3名	
合 計	104名 (73名)	52組 (34組)	73名 (62名)	11名 (10名)

- ・ 事前講習会の定員は水曜日10組、日曜日6組（事前申込み制）
- ・ 開催時間 水曜日；13：30～16：00、日曜日；9：30～12：00
- ※は、長期（3カ月以上）飼養犬譲受希望者に対する個別講習

(b) 事前講習会参加組数の推移



(c) 事前講習会での面談結果及び譲渡状況

- ・事前講習会での面談組数は、受講者組数52組のうち51組であった。
- ・面談の結果、譲渡可は6組、条件付譲渡可は43組、譲渡不可2組だった。
- ・譲渡数：15組 15頭

(d) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 電話によるフォローアップ（譲渡10日後）
- 家庭訪問（譲渡4～15カ月後）
- 郵送によるアンケート調査（譲渡1年後）

(イ) 譲受希望者への猫の譲渡

譲受希望者には随時の個別面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡猫については3種感染症ワクチンを接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(a) 個別面談での面談結果及び譲渡状況

面談組数：37組

面談の結果、譲渡可は0組、条件付譲渡可は37組、譲渡不可0組

譲渡数：27組 36頭

(b) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 郵送によるアンケート調査（譲渡6ヶ月後）

(ウ) 犬及び猫の譲渡状況（市町村別譲渡頭数）

単位：頭

事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫	事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫
筑紫 保健福祉 環境事務所	筑紫野市	1				北筑後 保健福祉 環境事務所	朝倉市				
	春日市				3		小郡市				
	大野城市	1					うきは市				
	太宰府市			1	2		筑前町				
	那珂川市						大刀洗町				
粕屋 保健福祉 事務所	古賀市				4	南筑後 保健福祉 環境事務所	東峰村				
	宇美町						柳川市				
	篠栗町						みやま市				
	志免町						八女市				
	須恵町						筑後市				
	新宮町			1			大川市				
	粕屋町						大牟田市				
	久山町						大木町				
糸島保健 福祉事務所	糸島市	1	1			京築 保健福祉 環境事務所	広川町				
宗像・遠賀 保健福祉 環境事務所	宗像市	2		1	2		行橋市				
	福津市	2			2		豊前市				
	中間市						みやこ町				
	芦屋町						苅田町				
	水巻町				2		吉富町				
	岡垣町			1	2		築上町				
	遠賀町		1				上毛町				
嘉穂・鞍手 保健福祉 環境事務所	飯塚市					北九州市 動物愛護 センター	小倉南区		1	1	2
	嘉麻市						八幡西区				
	桂川町					福岡市 動物愛護 管理センター	東区	1			4
	直方市						博多区			1	
	宮若市						中央区				
	鞍手町						南区	2			2
	小竹町						城南区				2
							早良区				
							西区	1			1
田川 保健福祉 事務所	田川市					久留米市 動物管理 センター	久留米市				2
	香春町										
	添田町	1									
	糸田町										
	川崎町										
	大任町										
	福智町										
	赤村					令和5年度譲渡数		成犬	子犬	成猫	子猫
								12	3	6	30

(ハ)福岡県獣医師会の支援診療

県獣医師会支援事業により、1回1頭の支援診療を受けた。

イ 譲受団体への譲渡

センターの登録基準を満たした団体に対し、当該団体が希望する犬猫を譲渡した。

※登録基準：福岡県犬及びねこの団体譲渡に係る要領（平成22年5月26日施行）

(ア)登録譲受団体数

33団体（令和6年3月31日現在）

(イ)犬及び猫の譲渡状況

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
142 (180)	20 (76)	60 (41)	130 (117)	352 (414)

ウ 譲渡動物の不妊去勢手術

・不妊去勢手術の実施状況

単位：頭

	メス	オス	合計
犬	5	10	15
猫	32	21	53
合計	37	31	68

エ 譲渡動物へのマイクロチップの装着

センターにて、犬16頭、猫55頭、合計71頭に装着した。

登録譲受団体に譲渡した犬猫に対し、獣医師会に委託して装着した。

犬84頭、猫66頭 合計150頭

(3)施設の保守及び管理業務

建物・施設、財産の適正な維持管理に必要な業務を行った。

5 動物愛護週間事業等

動物愛護週間は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正飼養について関心と理解を深めるために設けられたもので、センターでは次の事業を行った。

(1)動物慰霊祭

- ・開催日 10月25日（水）
- ・場所 福岡県動物愛護センター 大会議室
- ・内容 動物慰霊祭
- ・参加者 53名

(2) 2023動物愛護フェスティバルふくおか

開催日及び場所 10月22日(日) 天神中央公園西中洲エリア(福岡市中央区)